



# 善正寺だより

掲示板法話

## 真実の言葉は

### 困難を乗り越える力となる

オリンピックが終わると、九月にはパラリンピックが同じリオデジャネイロで開かれます。視覚障害者のマラソンに出場する道下美里選手のことを知り、感動を覚えたので紹介します。彼女は、角膜炎の病で十三歳の時に片方の視力を失いましたが、更に二十六年になってもう一方の眼も失明、絶望の淵に立たされました。「もう自分は世の中に必要とされない人間なのだ」と思い詰めたのです。

ところがある日、家の外で母親が誰かに「大変ですね」と話しかけられた時、母が「全然大変だと思っていないけどね」と答える声偶然に聞こえてきました。「自分は親にとってもお荷物ではない」と思い込んでいた彼女は驚きと共に、「両眼の視力を失った自分をお荷物などと思わず、今も変わることなく、丸ごと認められている」という安堵感に包まれたのです。

二年前の大会で当時の世界最高記録を出した彼女は、母親の誕生日に「目を悪く生んでくれて有難う」と母親にこの上ないような感謝の言葉を

贈りました。

「子病むゆえに母病む」。「衆生病むゆえに我病む」という、み仏さまの心そのままに、母親は失明の悲嘆に苦しむ我が子の苦痛を共に背負っていたのです。それ故に、親子の心の絆は却って深く結ばれます。それが娘さんに「眼の悪い子に産んでくれて有難う」と言わせた深層でありましょう。痛みを避けるでもなく、そのまま受け容れられる母の言葉に遇って、彼女は失明のまま真実に居場所が与えられてあることに気づいたのです。「救い」とは気づきです。

人間は言葉の世界に生きています。温かな、嘘偽りのない真実の言葉に遇いたいと願っています。人間の言葉を越えた真実の言葉が南無阿彌陀仏です。

「念仏者は無碍の一道なり」(歎異抄・第七章)。お念仏申す心は、沢山の「有難う」を包み込み、困難を乗り越える力を発揮してくれるのではないのでしょうか。



2016.08.0

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:059-331-1670  
fax:059-332-0733

### ☆行事ご案内☆

## ◇門信徒会 9月例会

### 9月18日(日)夜7時半

- ① 十三日講の由来と浄土真宗の歴史について
- ② テロ、暴力が吹き荒れる時代をどう考える?
- ③ なぜ、お参りしなければならないのか?



◇絵手紙教室 9月13日(火)午前10時 13回目川崎光子先生

◇キッズサンガ 9/3(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休

◇三重組コーラス 9/未定 午後1時より 西勝寺様

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。  
毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設8年1カ月で21万3千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎!即返信

◇一縁会テレホン法話:059・354・1454お電話を!

※9月18日(日)午前・午後小杉町仏教会主催『追悼法要』  
光念寺様にて、年間物故者と戦没者の遺族、町役員さん等参加  
※「第6回百五銀行善正寺門徒展」作品募集中!10月の1カ月間、百五銀行阿倉川支店ロビーで善正寺門徒展開催します。  
多数の応募作品お待ちしております。報恩講でも本堂に展示。

※(お礼)平成28年度の善正寺門信徒会年会費を、皆様のご協力で集めさせて頂きました。心より感謝申し上げます。

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

### 写真アラカルト



ネパールからようこそ、のお参り



アメリカの子供たちと交流の夏休み



### 坊守スケッチ

## ネパールからようこそ!



ホームペーじのネット悩み事相談を見た男性から電話がかかりました。「ネパール人の女性と結婚して半年。妻の母が亡くなりましたが、一度も帰国できず悲しみに落ち込んでいます。葬儀に参列できなかったので、日本のお寺でお参りをお願いできますか?」「ネパールは仏教国。仏教の開祖お釈迦様もネパールの人。日本の寺は多くの宗派に分かれています。元をたせば全て仏教。亡きお母様を慕う気持ちには世界共通。お釈迦様がどのように説かれたか一度お寺にお越し下さい」

若いカップルは四日市に住んで日も浅く、車もないので、私が阿倉川駅まで出迎えることになりました。住職と私達家族が本堂で一緒にお焼香し、正信偈を勧めました。その後住職の法話を聞きました。おそらく本堂へ参るのも、法話を聞くのも初体験の若夫婦。そこで住職が彼らに質問しました。「先程一緒に読んだ経本の中で、どんな言葉が一番印象に残りましたか?」「南無阿弥陀仏です」

「そうですね。何回も南無阿弥陀仏という言葉が出て来ました。ネパールでも挨拶や感謝する時に『ナマステ』という言葉使ってますね。『ナマステ』の『ナマス』に『南無』という漢字を当てて、『阿弥陀仏に帰命します』という意味です。『南無阿弥陀仏』

を唱える時、あなたの心の中に亡きお母様が戻って来て、(一人じゃないよ、大丈夫だよ)と励まして下さいます。いつかお浄土で再び会える日まで、南無阿弥陀仏を唱えて合掌して下さい」。法話中、ネパール人の妻は、一言一句聞き逃さないような真剣な表情で何度も頷き、時にはハンカチを取り出して涙を流していました。

とかく私達は難しいお説教には、頭の中は他の事で宙を舞っています。彼女の真摯な聞き方に感動し、聴聞の心得の原点を思い出しました。帰り際「またお寺に来たいです」と明るい笑顔で別れました。妻に寄り添う夫の優しさを感じる新鮮な出会いでした。

#### お知らせ

今年も十月の一月間、百五銀行阿倉川支店で『第六回善正寺門徒展』を開催します。門徒さん以外の作品もOK。皆様の出品、ご協力よろしくお願います。作品は十一月二・三日の『報恩講』に本堂へも展示します。

#### ホットニュース

◇新企画『孟蘭盆会(うらぼんえ)法要』を、8月14日(日)朝8時半よりお勤めしました。地元の方、新納骨堂ご利用の方、有縁の方々等、自由に参拝。本堂で焼香、正信偈、住職法話、お茶接待などがありました。

#### ☆若院夫婦の『育自な毎日』その22

先月号に続いて、6月に中央仏教学院のスクーリング受講のため京都へ一泊したお話にお付き合下さい。私の留守中、実家の両親も駆けつけて子供たちはたくさん遊んでもらったようです。聞いた話では甘えん坊の長男(4)は昼間は一言も「母ちゃん」と発せず、薄暗くなってきた頃によやく「母ちゃん、いつ帰ってくるの?」とべそをかいたそうです。一方、その頃私は実技試験のため緊張感でいっぱいでした。

そして、一昨年に知り合ったHさん以外にもスクーリングで会いたい人がいました。私の中学からの親友のMちゃんです。偶然にも彼女も私と同様、在家から滋賀のお寺に嫁いで一男一女の育児中。彼女とも久しぶりの再会を喜び、励まし合いながら修了しました。年齢やそれぞれの立場に関係なく、ただ仏教を学ぶために集う仲間との貴重で新鮮な時間を過ごし、また家族のサポートに感謝しながらの二日間となりました。子供たちには苦勞をかきました。それを埋め合わせるように毎日楽しく触れ合っています。

お寺においてはスクーリングの経験を生かせるように頑張っていくたいと思います。皆様、今後ともよろしくお願いたします。(若坊守)



#### 敬用

★白垣房子様(78・小杉)7月31日往生の素懐を遂げられました。合掌

#### 寄稿

- ※お経済み 四日市市 釈妙水
- ※様々々の 悲喜浮かび来る 寺の庭
- ※仮名文字の お経弾むや 盆灯籠
- ※打ち水に 庭木も孫も 喜びて
- ※暑き夜や 猫よお前も 不眠症

#### カンパありがとう

柴田美津代様、澤田美智江様、他匿名様より頂戴しました。感謝!

#### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第273号をお届けします。◇世界中でテロが相次ぎ、排他主義と暴力が吹き荒れています。◇国内でも障害者福祉施設襲撃事件が起り、施設を襲った犯人の「障害者がいなくなればいい」という許しがたき差別的な考え方に衝撃を受けました。関係者のみならず、全ての人々に与えた痛みは如何ばかりか、測り知れません。◇「すべてのいのちは願いにより生かされている存在。だから、かけがえなきあらゆる命よ輝け」というみ仏の願いを聴いていかなければならない。◇大したことはできないけれど、何よりも縁ある間柄同士、「互いに敬い助け合い」生かされていきたいと思う心、切なるものがある。合掌。

今年もお盆が巡ってきました。最近各家で親しい人を  
招いてご先祖を偲ぶお盆参りの習慣が薄れてしま  
した。そこで善正寺では今年初めて盂蘭盆会法  
要(うらぼんえほうよう)会を企画、自宅でのお勤めが困  
難になった方は8月14日(日)午前8時半にお参り  
下さい。クワラーの効いた本堂で焼香して正信偈を  
勤め、住職法話、冷茶と菓子の接待もあります。1  
時間程で終了します。是非お参り下さいませ。  
近年家族葬や法事の簡素化が目立ちます。核  
家族化と高齢者の施設暮らしが多くなった所為  
もありません。ある高齢者が「子供時分、お盆や報恩  
講が巡ってくる嬉しかった。その日は大勢が集まって  
御馳走が食べられた。子沢山の農家で現金収入が無か  
ったので、米と引き換えにうどんや食材を求めた。貧乏し  
くてもお参りだけはきちんと勤めた。それがご先祖への  
ご報謝。今までどんな苦勞も乗り越えられたのはご  
先祖と世間様のおかげ」と言われました。今の若い世代  
は親や世間から何も教えられていないので自己中心的  
で孤立化しています。児童虐待数がこの10年で3倍  
に増えました。一番守るべき家族なのに、自らの手で  
壊しています。これも簡素化で崩した地縁・血縁の  
影響ではないでしょうか。お盆や永代経はそれに気  
づく絶好の機会です。お誘い合わせしてお参り下さ  
いませ。合掌 平成二十八年九月 善正寺方守拝